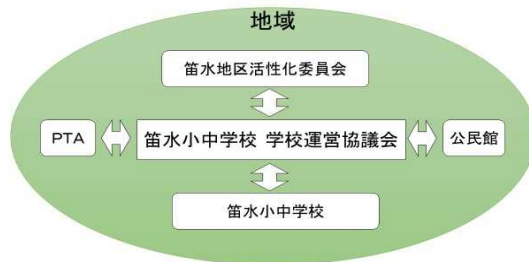


こんな活動です

# 【学校運営協議会と地区活性化委員会との連携・協働】 地域の課題解決と学校の教育活動の充実を目指して

宮崎県都城市		●活動名 笛水地区活性化委員会			●関係する学校名 都城市立笛水小中学校		
協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	2 学級	のべ児童・生徒数	12 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数 5人			
学校運営協議会	指定・設置日 平成25年4月1日設置	ボランティアの数		延べ登録人数 230人	企業・NPO等との連携		無
参考URL	<a href="http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4336">http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4336</a>						
●連絡先	都城市立笛水小中学校			☎ 0986-62-4634			

●体制図



●活動の概要・経緯  
学校運営協議会と連携をとり、米づくりなどの「体験活動」、地域の方と子供たちとの「ふれあい会」、「地域の祭り」、「ダム湖周辺整備作業」などの学校支援活動や地域貢献活動に取り組んでいる。また、学校が小規模特認校制度の指定を受けたことから、入学・転入学の子供を受け入れやすいよう地域が移住促進の支援体制を整備するなど、地域が「学校の応援団」、学校が「地域の応援団」として活動をしている。  
本地区は、都城市の郊外(旧高崎町)にあり、人口減少、少子・高齢化などの地域課題を解決するために本地区活性化委員会を設立。さらに市教育委員会が進める学校運営協議会制度や小中一貫教育を受けて、本地区活性化委員会と学校運営協議会とが連携し、地区公民館等とのつながりをもちながら地域と学校が一体となった取組を進めている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 1 学校支援活動
  - ①「ふれあい会」: 地域の高齢者の方とのグラウンドゴルフ等のレクリエーションや給食
  - ②「笛水夏祭り」: 学校やPTAの主体性を生かしながら毎年、企画・運営の支援をしていく地域の季節行事
  - ③「ふるさと教育」: 地域を巻き込んだ立志式、地域の方の講師による学習支援(そば打ち・米づくり体験等)
- 2 地域貢献活動
  - ①「笛水地区元気花壇整備」: 地区玄関として地域の方がボランティアでつくった花壇の整備
  - ②「ダム湖周辺整備作業」: 公民館と連携し、地区にあるダム湖周辺の環境美化作業

### 【実施に当たっての工夫】

本地区活性化委員会が学校運営協議会の委員になることで、地域の思いや願いを学校運営協議会に伝えたり、学校の思いや願いを地域に伝えたりできるようにし、目的や地域の実態、学校の教育方針、課題解決の方法等の共有化につながるようにしている。学校運営協議会が中心になり、コーディネーター役を担うことで、地域人材や地域団体等を学校教育諸活動と関連させた効果的な教育活動を工夫することができ、また、地域の高齢者への生きがいづくり、人間関係の希薄化などの地域課題への解決が可能となっている。学校の行事と地区の行事を合わせ、地域の子供から大人まで参画できる活動内容にし、人と人とのつながりができるようにしている。学校からの便りや地区の回覧板等により、「地域の子供は地域で育てる」という意識を高め、地域住民への周知を図るようにしている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 学校運営協議会と連携することで、地域の思いや願いや学校運営上の懸念事項を共有することで、よりよい対策等を熟議することができた。
- 教育活動の情報や諸行事のお知らせを地域の方へ周知することで、地域との連携が密になり、「ふるさと教育」の充実を図ることができた。
- 諸活動への地域住民の参加及び子供たちへの称賛が、子供たちのふるさとを思う気持ちの高まりや活動への意欲付けとなっている。

## ●その他

活性化委員会の主催のもとに、夏季休業中の第1土曜日、日曜日に、子供、保護者、職員が一緒になって「笛水キャンプ(宿泊体験学習)」を開催している。キャンプファイヤー、うなぎつかみ、カヌー体験、調理体験などの多様な体験活動をしている。



地域の子供たちを講師として受け入れ、学校でそば打ち体験を行っています。



子供たちが収穫したもち米を取り入れ、学校でももちつきを行っています。